

事業所名

放課後等デイサービス ぽぽらす

支援プログラム（参考様式）

作成日

R7

年

2月

3日

法人（事業所）理念		地域の小児やそのご家族を見守りながら支援を行い、時代の変化や社会的ニーズに即した地域医療や福祉の充実を目指し、社会貢献に尽力していきます。					
支援方針		子どもの気持ちを尊重しながら特性に応じた支援を行います。保護者との情報共有も図っていきます。					
営業時間		12 時	0 分から	20 時	0 分まで	送迎実施の有無	あり <input checked="" type="radio"/> なし <input type="radio"/>
		支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 来所時、療育時の子どもの様子の観察を行い、健康状態の把握 療育内でスケジュール提示による構造化を意識した支援 家庭での時間の使い方と一緒に考え見通しを持って取り組めるように支援 					
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> 視覚、聴覚、触覚、嗅覚、固有覚、前庭覚などの特性に応じて、刺激に敏感な子どもに対しては刺激を少なくしたり、鈍麻な子どもに対しては刺激を多く入れていくなどの配慮を行う トランポリンやキャッチボールなどの運動遊びを通して姿勢の保持や基本動作などの獲得 ボールキャッチやレーザーポインターなどを使いながら追視や目を素早く動かす運動の実施 折り紙やねんど、手芸などの制作活動を通してハサミやのりなどの使い方の習得や巧緻性の向上を図る 					
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> 季節に応じた制作活動（例：クリスマス→折り紙でサンタさん作り、松ぼっくりクリスマスツリー作り ハロウィン→お化け作り、パンプキンホットケーキ作りなど）を通して季節の変化への興味などの感性形成 天気、気温、日付の把握と確認による感覚や数の認知形成や一般的な知識の獲得 パズルやブロック、点つなぎなどによる空間把握の認知形成 他者と一緒にゲームを行う中で適切な行動形成、認知の偏りの配慮 カード覚えや伝言ゲームなどを行いながらワーキングメモリーの向上を図る 					
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ことばだけでなく文字や絵カードなどをを使ったコミュニケーション方法を子どもの発達段階や特性に合わせて選択、活用 なぞなぞや連想ゲームなど色、形、用途、カテゴリーなどの理解・表出語彙の増加 療育の中で他者と一緒に学校や家での出来事などの近況報告などを行い、言語表出・受容の向上 					
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> お店屋さんごっこやルールのあるゲームなどの遊びを通して役割分担や他者との関わり方、相談、協力の獲得 自分への理解と認識として「こんな時どうする？」「感情の温度計」「パーソナルスペース」「自分と他者の考え方の違い」などの実施 SSTの一環としてゲーム内容と一緒に決める、他者の意見の受け入れ、自己主張の仕方、断り方などを行い、ソーシャルスキルの獲得を促す 					
家族支援		本人の思いや特性、現状などを保護者と情報共有を図りながら円滑な意思疎通が行えるように支援をしていきます。	移行支援		本人の特性を踏まえて一貫した支援を行う為情報共有や支援内容の連携・取り組みを行います。		
地域支援・地域連携		関係機関で役割分担を行うと共に、それぞれの機関で得られた情報を共有し、日常的な生活や支援に活用するための具体策を提案していきます。	職員の質の向上		法人内や事業所での研修を行いながら職員の質の向上を図っていきます。定期的に避難訓練を実施しています。		
主な行事等		日曜日や祝日に季節に応じた制作活動やクッキング、交通安全等の受講などを行います。					